鈴木金治泌尿器医学賞

小島教授（福医大）が受賞

小島祥敬教授

福島医大は十五日、同大泌尿器科学講座主任の小島祥敬教授（四五）が「鈴木金治泌尿器医学賞」を受賞したと発表した。

同賞は日本泌尿器科学会の会員約八千人から毎年一人が選ばれる。同大によると、小島教授は県内でのロボット支援手術、男子不妊症診断など最先端の医療を始めた社会貢献や、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故で被災した本県で奮闘していることが評価された。

小島教授は「今回の受賞を励みに本県の医療のさらなる発展に微力ながら貢献できるよう精進したい」と喜びを語った。

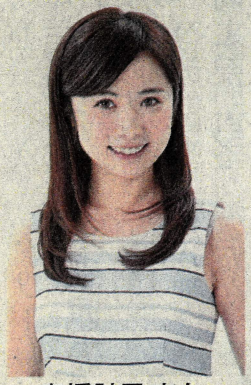
桜背景にモデルがポーズ

25日 鶴ケ城大撮影会

城と桜を背景にファッションモデルを撮影する鶴ケ城大撮影会は二十五日午前十時から午後一時まで会津若松市の鶴ケ城本丸周辺で開かれる。今年は鶴ケ城天守閣再建五十周年を記念し、鶴ケ城さくらまつりの一環として開催する。

福島民報社と会津若松観光ビューローの主催、市、会津若松商工会議所、富士フイルムイメージングシステムズの後援、リオン・ドールコーポレーションの協賛、花春酒造の協力。招待モデルは奥山かずささん、高橋詩乃さんの二人。桜に彩られた鶴ケ城をバックにポーズをとる。参加自由で無料。小雨決行。

奥山かずささん



高橋詩乃さん

撮影会の優秀作品を表彰する。福島民報社会津若松支社で応募を受け付け、後日審査する。鶴ケ城一帯の風景や桜などの写真も可。締め切りは五月三十一日（当日消印有効）。推薦、特選、準特選各一人と、入選十人、リオン・ドール賞一人を選ぶ。問い合わせは福島民報社会津若松支社　電話0242(28)6900へ。

「職人の技展」開幕

郡山のうすい工芸や装飾品並ぶ

並ぶ「六人展」

工芸や装飾などの伝統の技を受け継ぐ名工の作品を集める。県内からは二本松市の田中家具が仏壇や民芸たんすを出品している。

買い物客らは独創性にあふれ、職人が精魂を注いだ逸品を手に取って真剣に品定めして

向羽黒山城跡ふれあい茶会

今年は来月31日

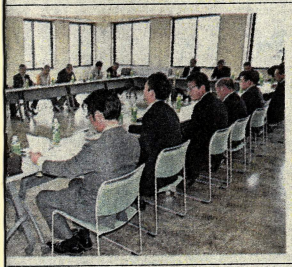
会津美里町の「炎の郷・向羽黒山城跡ふれあい茶会」は五月三十一日、町内本郷地域の向羽黒山城跡などで開かれる。十五日、町本郷庁舎で開いた実行委員会で決めた。

関係者ら約三十人が出席。渡部英敏町長、水野俊彦町観光協会副会長らがあいさつした。茶室で会津本郷焼をはじめ、会津漆器や三島桐、昭和からむしなどを茶道具として活用し、会津地方の地場産品と観光の振興につなげることを確認した。実行委員長に水野町観光協会副会長を選んだ。

また、今年も大沼高や会津工高生による茶席を設けるほか、白河甲冑（かっちゅう）隊によるパフォーマンス、俳句吟行、新作茶道具展示即売会を繰り広げる。

当日は午前九時四十分から開会式を行い、午後三時まで催す。

山城を造営した戦国武将・葦名盛氏公が会津地方に茶道文化を広めたことにちなみ、旧会津本郷町時代から続いている。今回で十四回目。



読む 知る 学ぶ E!新聞

新聞の活用法解説

郡山女子大 本紙記者が講演

郡山女子大のキャリア教育授業は十五日、郡山市の学内で行われ、福島民報社の記者が新聞の役割や活用法などについて講演した。

進路選択に備え、社会と仕事を知るのが目的。福島民報社地域交流室の渡部育夫副部長が人間生活学科の三年生に対し、記事の構成や見出しに着目することで伝える力が養われることなどを説明した。

◇　◇

福島民報社は大学・短大をはじめ小、中学校や高校などを対象に新聞に関する各種講座の申し込みを受け付けている。「読む　知る　学ぶ『E!新聞』プロジェクト」の一環。問い合わせは地域交流室　電話024（531）4145へ。

福島テレビが番組審議会

福島テレビは十五日、福島市の本社で放送番組審議会を開い